

危機管理安全部

組織目標



危機管理安全部は、危機管理課・市民安全課で構成し、危機管理に関する総合調整、防災訓練、交通安全対策、防災・防犯対策、消防団、基地対策に関する施策に取り組んでいます。

危機管理安全部の目標（令和6年度）	危機管理安全部長 高野 広行
【部の基本方向】 市の危機管理体制の強化に加え、警察、消防、自衛隊等の外部機関との連携強化を図るとともに、危機管理、防災、防犯、交通安全の各分野における関係団体との協働により、市民が安全で安心してくらするまちづくりを進めます。	
【部の重点方針】 1 危機管理体制の強化を図り、災害に強いまちづくりを進めます。 2 自助、共助、公助の連携による地域防災力の高いまちづくりを進めます。 3 埼玉西部消防組合及び消防団の基盤強化を図り、消防力の高いまちづくりを進めます。 4 交通事故の危険から市民を守る環境を整備し、交通事故のないまちづくりを進めます。 5 地域・関係機関との連携による防犯活動を推進し、安心してくらするまちづくりを進めます。	
【課の目標（達成すべき目標）】 【危機管理課】     1 地域防災マネージャーや防災及び気象の両アドバイザーによる市職員対象の訓練や研修を通して災害対応のレベルアップを図ります。 また、被災時における外部からの人的及び物的支援を円滑に受入れるための受援計画を策定します。 ・実地訓練：6回以上 ・座学研修：20回以上 ・災害時受援計画の策定 2 市内全地区で一斉に実施する実災害を想定した実効性の高い防災訓練を通して、災害対応力の高いまちづくりを進めます。 ・防災訓練参加人数：20,000人以上 【市民安全課】    3 消防団の活動状況や地域貢献等を周知することで、消防団のイメージ向上を図り、新規入団者の獲得を目指します。 ・新規入団員数：10人以上（うち女性消防団員3人以上）	【目標の達成度合】

4 学校・関係団体等との連携のもと、年代に応じた地域に根差す交通安全活動を実施し、交通安全意識の醸成に努めます。 ・交通安全教室：230 回、13,000 人 5 区・自治会、警察等と連携し、犯罪を起こさせにくい地域社会の実現に向けて地域防犯体制の充実及び特殊詐欺被害等の防止対策を推進します。 ・防犯啓発呼びかけ人数：延 150,000 人 ・広報車による啓発活動：350 回、800 時間	
---	--